

---

---

## 健康と看護

井上 みゆき 教授

辻 あさみ 教授

服部 園美 教授

檜葉 雅人 講師

2年次通年・必修

4単位・60時間

---

---

### 【概要・目的】

(小児看護学)

小児看護を実践するための基礎知識と子どもの成長発達と発達を促進する看護を学修する。

(成人看護学)

成人期にある人の健康の概念について理解し、成人期の人々の健康や生活に影響する環境等について学ぶ。成人看護の活動に必要な看護理論について学ぶ。

(精神看護学)

こころの健康について考え、ライフサイクルや環境に伴うメンタルヘルスを学ぶ。

(老年看護学)

加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化を理解し、高齢者の健康問題と看護を学ぶ。

---

### 【到達目標】

(小児看護学)

- 1) 子どもを取り巻く環境・社会・安全・家族について理解し人権を守る支援について述べるができる。
- 2) 子どもの健康が家族に及ぼす影響を理解し、子どもを対象とする看護職の役割について述べるができる。

(成人看護学)

「成人期」にある人の健康障害と、健康障害に応じた看護の特徴が理解し、成人看護の活動に必要な看護理論を踏まえた看護実践方法について述べるができる。

(精神看護学)

こころの健康、ライフサイクルや環境に伴うメンタルヘルスについての知識を修得する。

(老年看護学)

加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化が理解でき、高齢者の健康問題と看護について考察することができる。

---

### 【内容・スケジュール】

1) ~8) (小児看護学) 井上

- 1) 子どもを取り巻く環境・社会
  - 2) 子どもの栄養
  - 3) 子どもの安全を守る支援
  - 4) 子どもの人権・法律・倫理
  - 5) 子どもの人権を守る支援 (グループワーク)
-

- 6) 子どもの人権を守る支援（演習）
- 7) 子どもの健康が家族に及ぼす影響
- 8) 子どもを対象とする看護職の役割
- 9)～15)（成人看護学）辻、池田
  - 9) 成人期にある人の健康の概念
  - 10～11) 成人期にある人を看護するための基本的な考え方
  - 12～15) 健康状態に応じた看護（ヘルスプロモーション・急性の状態にある人への看護・生活機能障害を有する人の看護・慢性的な経過をたどる健康障害を有する人への看護・人生の最期のときを迎える人への看護）
- 16)～23)（老年看護学）服部
  - 16～18) 心身の加齢変化と健康アセスメント
  - 19～23) 高齢者の健康問題と生活を整える看護
- 24)～30)（精神看護学）樫葉
  - 24) こころの健康に関する普及啓発
  - 25) 児童・思春期、学校におけるメンタルヘルス
  - 26) 職場におけるメンタルヘルス
  - 27) 高齢者のメンタルヘルス 28) 看護師のメンタルヘルス
  - 29) 「自殺防止」における看護職の役割
  - 30) 「行動制限」における看護

---

#### 【評価】

成人・老年・精神：筆記試験 90%および授業参加状況 10%  
小児：筆記試験 70%、授業への主体的参加度・事前学習課題 30%  
評価責任者 服部園美 教授

---

#### 【教科書】

二宮啓子編集：小児看護概論「子どもと家族に寄り添う援助」改訂版第3版  
南江堂  
写真でわかる小児看護技術アドバンス新改訂版 インターメディカ  
林直子監修：成人看護学 成人看護学概論 改訂第3版 南江堂  
武井麻子他「系統看護学講座専門分野Ⅱ精神看護①および②」  
正木治恵，他 老年看護学概論「老いを生きる」を支えることとは（改訂第3版）南江堂

---

【推薦参考図書】随時紹介する。